

□ 町屋・尾久地域での空き家を活用した下町型エリア再生プロジェクト ～つなぐ場とたまり場を産・学・官・民で創出～

木造建物が密集している町屋・尾久地域において、防災性の向上や新たな都市の再生に資する空き家の活用を具体化するとともに、産学官民が連携した多様な主体によるプラットフォームを立ち上げ、福祉・産業振興・防災分野への相乗効果が生まれるコミュニティビジネスを創出し、持続可能な取り組みを目指す。

■ 概 要

区市町村名	荒川区
まちづくり プロデューサー	株式会社スピーク
行政の関わり	プラットフォーム会議の運営や空き家の活用に向けた機運の醸成等を図っている。
連携先	プラットフォーム（空き家利活用に係る地域ネットワークとなる会議体）
対象エリア	町屋・尾久地区

■ 本年度の取組内容

- ・空き家利活用をテーマとして設立した会（プラットフォーム）を通じてエリアビジョン（あちこちで活動が生まれるまち荒川）の実現に向けた検討や意見交換を行った。また、本活動の継続方法についても検討を重ねた。
- ・これまで関係を築いてきた地主等の空き家所有者と継続的にコンタクトを取り、空き家の相談やアドバイスをを行った。
- ・区民向け講座を行い、地域資源（空き家・空きスペース等）の活用と地域活動について可能性を探り、意見交換を行った。
- ・空き家活用の事例紹介として、瓦版を作成し、ホームページ等で周知した。

■ 本年度の成果

- ・プラットフォーム会議において、既存の地域活動と連携して行う「地域に開かれたプラットフォーム」を実施することができた。
- ・空き区画のマッチングで物販店兼カフェがオープンした。



【プラットフォーム会議の地域共有】



【空き区画のマッチング・活用事例】



【区民向け講座】



【事例紹介・瓦版】